

▼パドリン注射液 [注] <製造中止>

【重要度】<製造中止> 【一般製剤名】プリフィニウム臭化物 prifinium bromide 【分類】合成鎮痙剤

【単位】▼7.5mg/A [1mL]

【常用量】1日1A

【用法】静注, 筋注, 皮下注

【透析患者への投与方法】透析患者の投与方法に言及した文献はないが、減量の必要はない (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】アトロピン様の副交感神経遮断作用を有し、消化器や尿路系の鎮痙作用を示す。パピペリン作用や中枢神経作用はない。

【主な副作用・毒性】血圧低下、口渇、排尿障害、視覚障害など

【排泄】尿中回収率50% [iv, 24hr まで] (1) 【CL】12.5mL/min, 腎 CL5.8mL/min (J Clin Pharmacol Ther Toxicol 21: 213-217,1983)

【t1/2】2.13hr (Int J Clin Pharmacol Ther Toxicol 21: 213-217, 1983) 2hr (1)

【Vd】1.9L/kg (1)

【MW】386.37

【透析性】分布容積が大きいため血液透析によって効率的には除去されないと思われる (5)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない 【pKa】10.2 (1)

【更新日】20140820

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。